

第61回議会力向上会議記録（抄）

（4. 7. 19）

一、協議事項について

冒頭、当会議の座長に議会運営委員会委員長の山口典子議員が、副座長に議会運営委員会副委員長の黒田征樹議員が就任する旨の報告があった。

正副座長より、次の事項に関し意見聴取を行い、協議の結果、下記のとおりとなった。

（別紙各資料参照）

1. 今年度の協議項目及び年間スケジュールについて（資料1 参照）

今年度、議会力向上会議で協議すべき案件と年間スケジュールについて、正副座長案が示された。

【協議結果】

正副座長案（原案）を了承し、合意されたスケジュール案で進行することとした。

2. 議会力を向上させるための方策について

○大綱質疑における審議時間の見直しについて

令和4年5月定例会の大綱質疑において試行した内容（大綱質疑の発言時間を10分+30分×会派構成議員数（答弁時間含む）とし、大綱質疑1～3日目は午後5時を目途に終了し、大綱質疑が3日間で収まらない場合は、予備日を使用する運用）について、その検証を行い、11月定例会の大綱質疑における審議時間について、どのような運用とするのか、各会派等の意向を聴取した。

【各会派等より出された主な意見】

大阪維新の会 堺市議会議員団	○5月定例会の審議時間を見る限り、予備日は必要ない。 ○当初から主張している20分×会派構成議員数（答弁時間含む）を提案しており、11月定例会では同内容での試行と考えるが、公明党堺市議団の提案内容（20分+20分×会派構成議員数（答弁時間含む））で試行し、議員改選後に、改めて検証するということがよい。
公明党 堺市議団	○2月・8月定例会と同様に20分+20分×会派構成議員数（答弁時間含む）で11月定例会から本格実施していただきたいが、意見がまとまらない中では、11月定例会から本格実施することは困難と考える。11月定例会は昨年8月定例会と同様の内容で再度試行してはどうか。
自由民主党・ 市民クラブ	○試行については、特に問題はなかったため、5月定例会と同じ内容で11月定例会も試行することよい。 ○5月定例会において審議時間を使い切らなかったが、そのことをもって審議時間を削減すればよいということではない。
堺創志会	○試行については、特に問題はなかったため、5月定例会と同じ内容で11月定例会も試行することよい。 ○5月定例会は予備日を使用しなかったが、仮に予備日を使用することになった場合、どのような問題が発生するのかを検証すべきであ

	る。 ○審議時間を削減する意見には賛同できない。
日本共産党 堺市議会議員団	○5月定例会で試行した審議時間でも質問項目をかなり削減しており、これ以上の審議時間の削減は了承できない。 ○5月定例会と同じ内容で11月定例会も試行することによい。
長谷川議員	○追加提案される議案については、1つの議案でも20分(答弁時間含まない)の質疑時間がある中、大綱質疑の審議時間については、40分(答弁時間を含む)は保障されるべきである。

【協議結果】

本件については、各会派等に持ち帰り、次回の会議で引き続き協議することとした。

なお、座長から、11月定例会の初日議会運営委員会までに意見をまとめる必要があるため、それまでに協議がまとまるよう調整していただきたいとの発言があった。

3. 議会ICT化の推進について

(1) ビジネスチャットの運用について

本市議会における各種議員連盟の設立に伴い、議員から、議員連盟の活動の際、議員同士の連絡調整にビジネスチャットを使用したいとの要望があったことを受け、議員連盟など議員有志の活動において、議員同士の連絡調整のためにビジネスチャットを使用することの可否について、また、使用を認める場合は、その利用目的の範囲について、各会派等の意向を聴取した。

【各会派等より出された主な意見】

大阪維新の会 堺市議会議員団	○事務局の負担の有無の問題ではなく、公金を投入して導入しているチャットシステムを議員有志の活動に使用することは適切ではない。他のSNSを使用すればよい。
公明党 堺市議団	○事務局の負担にならないのであれば、使用してもよいのではないかと。
自由民主党・ 市民クラブ	○事務局の負担にならないのであれば、使用してもよいのではないかと。
堺創志会	○他のSNSを使用すればよい。
日本共産党 堺市議会議員団	○他のSNSを使用すればよい。
長谷川議員	○他会派の議論に委ねる。

【座長の説明】

議員連盟の活動に当たって、その活動に関する事務は当該議員連盟に所属する議員が行うこととなっている。ビジネスチャットの管理者が事務局である以上、ビジネスチャットを利用することは、少なからず事務局が事務に携わることとなるため、議員連盟の活動ではビジネスチャットの使用は控えるべきである。

【協議結果】

本件については、議員連盟など議員有志の活動にビジネスチャットを使用しないことで合意した。

なお、8月定例会の初日議会運営委員会において、合意内容について改めて確認することとした。

(2) クラウドシステムの資料の保存期間の見直しについて（資料2 参照）

令和3年8月19日の議会運営委員会において、クラウドシステムの資料の保存期間について合意されたが、クラウドシステムの導入に当たり、保存容量の範囲で可能な限り長期間の資料の保存を希望するなどの意見があったこと、また、クラウドシステム導入後、3回の定例会を経て、おおよその資料の保存容量を把握できたことから、座長より、改めて作成した資料の保存期間の見直し（案）（資料2）が示され、事務局より説明の後、各会派等の意向を聴取した。

【協議結果】

本件については、資料2のとおりとすることを合意した。

なお、8月定例会の初日議会運営委員会において、合意内容について改めて確認することとした。

4. ペーパーレス化の推進について

令和4年3月25日の議会力向上会議で合意された試行内容に基づき、ペーパーレス化を推進しているが、令和4年度は発注予定数量を示し、年間単価契約を行っているため、ペーパーレス化の対応を行うのであれば、令和5年度以降になるとしていた議案書のペーパーレス化について、各会派等の意向を聴取した。

【各会派等より出された主な意見】

大阪維新の会 堺市議会議員団	○来年度から完全なペーパーレス化を実現すべき。紙文書が必要な議員は各自で印刷すればよい。
公明党 堺市議団	○来年度から完全なペーパーレス化を実現すべき。
自由民主党・ 市民クラブ	○来年度から完全なペーパーレス化を実現すべき。紙文書が必要な議員は各自で印刷すればよい。
堺創志会	○ペーパーレス化については賛成であるが、紙文書が必要な場合の対応として、紙文書印刷にかかる経費と、議案書冊子の印刷発注にかかる経費（必要最低限部数での発注）を比較検討する必要がある。
日本共産党 堺市議会議員団	○紙文書で配布してほしい。
長谷川議員	○紙文書で配布してほしい。

【協議結果】

本件については、各会派等に持ち帰り、次回の会議で引き続き協議することとした。

なお、座長から、本件は令和5年度予算要求に関係するため、10月初旬までに結論を出す必要があるとの発言があった。

また、事務局において財政当局と情報交換を行い、改めて事務局から状況説明を行うこととなった。

5. 政務活動費運用指針の見直しについて（資料3 参照）

前回の会議において、公明党堺市議団より提案があり、各会派等に持ち帰って検討すること、あわせて、政務活動費検査員に改正案の内容を確認するとしていた政務活動費運用指針の見直し（切手等購入時における政務活動費の計上方法等）について、事務局より政務活動費検査員の意見（資料3）について説明の後、各会派等の意向を聴取した。

【協議結果】

本件については、政務活動費検査員の意見のとおり、政務活動費運用指針に規定している現行の取扱いを維持することを合意した。

6. 議会BCPマニュアルの改正について（資料4 参照）

堺市議会業務継続計画（議会BCP）対応マニュアル（以下「マニュアル」という）について、新型コロナウイルス感染症への対応及びクラウドシステム・ビジネスチャットの運用が開始されたことからマニュアルを改正する必要があること、また議長から、議会BCPが対象とする災害のうち、「その他議長が議会BCPの適用を必要と認める災害またはその他危機事象、武力攻撃が発生したとき」と規定する「その他危機事象」について、不測の事態が発生した際に迅速な対応が必要となると考えるためマニュアルにおいて定義していただきたいとの依頼があったことから、座長より、議会BCP対応マニュアル（たたき台）（資料4）が示され、事務局より説明の後、各会派等の意向を聴取した。

【協議結果】

本件については、資料4のとおりとすることを合意した。

なお、8月定例会の初日議会運営委員会において、合意内容について改めて確認することとした。

7. 議会報告会のあり方について（資料5 参照）

令和4年3月25日の議会力向上会議において、大阪維新の会堺市議会議員団及び堺創志会より提案があり、各会派等に持ち帰って検討し、協議することとしていた本件について、事前に各会派等から提出のあった意見（資料5）について各会派等より説明の後、各会派等の意向を聴取した。

【各会派等より出された主な意見】

大阪維新の会 堺市議会議員団	○資料5のとおり。 ○他市議会では、議員が会の運営や会場の設営を主体的に行っているところもあり、それが本来の議会報告会のあるべき姿である。 ○地域（区）ごとに実施するのがよい。ただし、地域に向くよりも、
-------------------	---

	<p>議場に来てもらい、議会に直接触れてもらうことが大事である。</p> <p>○各党派等の代表議員で構成する作業部会を設置し、議会報告会の企画、運営、また参加者の募集等の検討を行ってはどうか。</p>
公明党 堺市議団	<p>○資料5のとおり。</p> <p>○議会報告会に参加している議員と参加していない議員の温度差がある。</p> <p>○参加者のアンケート結果を生かして内容を検討する必要がある。</p>
自由民主党・ 市民クラブ	<p>○資料5のとおり。</p>
堺創志会	<p>○資料5のとおり。</p> <p>○毎年内容に変化がないため、参加者が固定化している。</p> <p>○地域（区）ごとに実施するのがよい。</p> <p>○議会では主権者教育について議論を行っていることから、中学生を対象とするなど主権者教育の観点の工夫があってもよい。</p>
日本共産党 堺市議会議員団	<p>○資料5のとおり。</p> <p>○参加者のアンケート結果が生かせていないのではないか。</p>
長谷川議員	<p>○資料5のとおり。</p> <p>○本会議の一般質問の前に住民と意見交換会を行っている議会もあるなど、議会によってさまざまな工夫を行っており、検討が必要である。</p>

【協議結果】

本件については、議会力向上会議の構成議員から各党派等1名を選出し、ワーキンググループを設置して議論を進めることとした（非公開）。また、正副座長はワーキンググループに参加することとし、ワーキンググループの進行は座長が行うこととなった。

（ワーキンググループ構成議員）

大阪維新の会堺市議会議員団	池田克史
公明党堺市議団	田代優子
自由民主党・市民クラブ	信貴良太
堺創志会	淵上猛志
日本共産党堺市議会議員団	森田晃一
会派に属さない議員	長谷川俊英

8. 第62回議会力向上会議の開催日時について

本件については、令和4年8月19日（金）午後1時から開催することとした。